

# 食品ロス削減シンポジウム

## 「食べものに、もったいないを、もういちど。」

共催：農林水産省、バイオマス資源総合利用推進協議会  
後援：消費者庁、経済産業省、環境省

**参加費無料**

みんな来て  
ほしいのん。



世界の穀物需給がひっ迫し、食料価格も上昇基調にある中、世界の生産量の3分の1にあたる13億トンの食料が毎年廃棄されており、食品ロスの削減は世界的にも大きな課題となっています。

また、食品ロスの削減に向けて、我が国の食品関連事業者においても、フードチェーン全体で食品ロスの原因の一つとなっている商慣習を見直していく取組が始まっています。

さらに、消費者が食品ロスに対する認識を高め、こうしたフードチェーンの取組を応援していくような環境を作るためには、「もったいない」意識を啓発していくことが重要であり、関係府省庁が連携し、官民をあげた食品ロス削減国民運動（NO-FOODLOSS PROJECT）を展開しています。

この国民運動を一層進めていくため、食品ロス削減シンポジウム「食べものに、もったいないを、もういちど。」を東京で開催します。

**日時** 平成 26 年 **3 月 26 日 (水)** 13:30 ~ 16:50 定員:500 名

**場所** イイノホール 東京都千代田区内幸町2丁目1番1号

### プログラム

13:30 ~ 13:35	主催者挨拶（農林水産省）
13:35 ~ 13:40	来賓挨拶（経済産業省）
13:40 ~ 15:05	I 部 講演及び取組紹介
(13:40 ~ 14:05)	1. 食品ロス削減に関する意見交換会について 消費者庁長官 阿南 久 氏
(14:05 ~ 14:25)	2. NO-FOODLOSS PROJECT の推進について 農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長 長野 麻子 氏
(14:25 ~ 15:05)	3. 食品ロス削減のための商慣習検討WTの検討結果について 公益財団法人流通経済研究所 専務理事 加藤 弘貴 氏
15:05 ~ 15:20	休憩
15:20 ~ 16:50	II 部 パネルディスカッション テーマ「食品ロス削減に向けて」
	コーディネーター：東京情報大学 学長 牛久保 明邦 氏
	パネリスト：4 名 ● 東京家政学院大学 副学長 上村 協子 氏 ● 江崎グリコ株式会社 理事 グループ渉外部長 永井 延幸 氏 ● 株式会社イトーヨーカ堂 加工食品部 シニアマーチャンダイザー 井出 敬一 氏 ● 公益財団法人流通経済研究所 流通研究開発室 研究員 石川 友博 氏

[http://www.jora.jp/25\\_syokuhin\\_sien/symposium.html](http://www.jora.jp/25_syokuhin_sien/symposium.html)

バイオマス資源総合利用推進協議会

